

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》濱田 淳一

【概要】

病理学 で学ぶ系統別疾患の病態の基礎となる、全身のどの臓器にも共通して見られる基本的病態の原因、基本的病態の特徴について学習する。

【学習目標】

病気について総合的に理解するために、全身のどの臓器にも共通してみられる基本的病変とその要因について学び、病理学 で学ぶ系統別疾患の病態の基礎を説明できることを目標とする。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	病理学序論	病理学とはどのような学問かを学習する。	濱田
2	細胞の異常～病気の本態	体を構成する細胞・組織の構造とその障害について学習する。	濱田
3	細胞の異常～病気の本態	正常細胞の新陳代謝、障害された組織の再生過程について学習する。	濱田
4	新生児の病理・先天異常	新生児に特有の病態と先天異常について学習する。	濱田
5	循環障害	循環器系の働きについて学習する	濱田
6	循環障害	循環障害について学習する	濱田
7	代謝異常	物質代謝の基礎と脂質代謝異常について学習する。	濱田
8	代謝異常	糖代謝異常、核酸代謝異常などについて学習する。	濱田
9	老化	細胞の老化と個体の老化の機構について学習する。	濱田
10	感染と感染症	感染症を引き起こす病因と発症機序について学習する。	濱田
11	免疫と免疫異常	免疫機構について学習する。	濱田
12	免疫と免疫異常	アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全について学習する。	濱田
13	炎症	炎症の原因や発症機序について学習する。	濱田
14	腫瘍	腫瘍の特徴ならびに疫学と病因について学習する。	濱田
15	腫瘍	腫瘍の診断と治療について学習する。	濱田

【評価方法】

定期試験（90％）と授業の参加状況（出席カードの設問に対する回答内容）（10％）

【備考】

教科書：なるほどなっとく病理学－病態形成の基本的な仕組み（南山堂）

【学習の準備】

今回の授業範囲を教科書で熟読しておくこと（20分）。配付プリントの復習問題を次の授業までに解いておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,4